

(別表第1の4)

事業所名グループホームいしかわ

## 目標達成計画

作成日：平成 24 年 11 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	No.33	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の高齢化に伴い、重度化や終末期の必要性が高まっている。</li> <li>母体の法人も、看取りケアの必要性・重要性を方向付けている。</li> <li>しかし現場では介護職員の不安・負担がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取りケアの必要性和法人の方向性を十分理解する。</li> <li>介護職にとっての不安が継続したままの看取りケアがなされる事がないように、計画的に重度化・終末期ケアの勉強会を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①看取りに対する法人の方向性・必要性を理解する。</li> <li>②看取りに対する介護職員の不安を調査。</li> <li>③母体の「緩和ケア・終末期医療を考えるワーキング・グループ会議」に2名参加(毎月1回)し、介護施設の看取りに関する不安・問題・今後の展開を医療職と考えて取り組む。(指針・マニュアル等の再確認)</li> <li>④介護職員の不安を理解し、母体病院の緩和ケア看護師長との勉強会を実施。「死生観について」</li> <li>⑤グループホームや小規模多機能施設等の看取りケア関連の研修に行き、伝達講習する。</li> <li>⑥部署内で看取りケアについて・緊急時の対応について(消防署の出前講座)、実際の看取りケアの事例等を、計画立てて勉強会として実施する。</li> </ul>	12 か月	<ul style="list-style-type: none"> <li>①～⑥に関して実践済み。</li> <li>③⑤⑥は継続中。</li> </ul>
2					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。